

# 小西・竹内・佐々木トリオが大活躍！

「CREATIVE MARKET TOKYO 2011」

大学院経営学研究所コンテンツ・マネジメントコースの院生トリオが、プロが参集する各種コンクールや展示会場で大活躍しています。

「ASIAGRAPH 2011 in Tokyo」  
「ファンフォーミー」動画部門

デジタルコンテンツの世界で活躍中のそのトリオは、コンテンツ・マネジメントコース1年の小西孝典さん、竹内僚平さん、佐々木大輔さん。



ロックマンアワード 2011 の表彰を受けた（左から）佐々木さん、小西さん、竹内さん

アジアを代表するデジタルコンテンツの祭典「ASIAGRAPH 2011 in Tokyo」が10月20日から22日まで日本科学未来館で開かれました。その中の「ASIAGRAPH CG アートギャラリー」では今年、株式会社ソラビコンの協力を



我武者羅応援団に激励される喜多見教授（右）

得て、「ロックマンアワード 2011」と題したコンクールを実施。世界中のファンから支持されている「ロックマン」のキャラクターや世界観、ビジュアルなどを制作モチーフとして技術を競う同コンテンツには、アジアの国々の第1線で活躍するプロのクリエイターの応募が殺到しました。その中で、小西さんは「優秀賞」、竹内さんは「準備

秀賞」、佐々木さんは「佳作」に入賞。さらに、高校の河村初さん（3 桜）も佳作に入賞（学園紙10月号掲載）し、文京学院勢が賞を総なめました。

表彰式は、10月23日に本郷キャンパスで開催された「CG WORLD 2011クリエイティブカンファレンス（ゲーム・映像業界の祭典）」の中で行われ、入賞者

はB'sダイニングを埋め尽くす来場者に祝福されました。

10月26日から28日に六本木ヒルズ森タワーで開催されたオールジャンルのコンテンツ制作者の「ビジネス登竜門」である「CREATIVE MARKET TOKYO 2011」。販路の確保や制作資金の調達を支援するビジネスマッチングの見本市です。厳しい審査で選ばれたクリエイターによる「コンテンツ・ライセンス関係エージェンツや企業による「プロフェッショナルブース」など、約110の出展者で構成され、各地域と国内外市場とを結びつける場でもあります。

その「コンパティションブース」のひとつに選ばれたのは、大学院の「喜多見康CG研究室」。前出の小西・竹内・佐々木院生トリオは、ここにも作品を出展し、実力を発揮。さらに「経営学部コンテンツ・マーケティング専攻・倉嶋ゼミ」の桑野由貴子さん、喜多見ゼミ」の三宅紗都子さん、小松ゼミ」の雨宮のみさんら女子トリオも、既にビジネス展開をしている作品を出展して活躍しました。

担当の喜多見康教授は「出展したくても出展できないプロがほとんどの中、実力で勝ち取った文京生は立派！ 多分、唯一の学生チームでしょう」と笑顔。隣にブースを構えていたのは「我武者羅応援団」（応援団による応援を世界展開している明大応援部OB団体）。喜多見教授と学生たちに、盛んにエールを送りました。